



森の息吹

No.160 8月号
2019. 7月29日発行
編集代表：五賀利雄
0133-26-3738

7月の活動

里山づくり・伐木処理・炭焼き準備

7月7日(日) 里山づくり&山田山林での伐木作業 参加者 午前8名 午後10名
午前中は「弁華別協働の森」作業で植栽地の下草刈りと苗畑の草取りをしました。

植樹地の雑草は5月の作業時に比べ腰のあたりまで伸びており
植栽木の周りを手鎌で刈る作業を最優先に行い、植樹木を刈らない
手順を踏み、その後、刈払い機で植栽地全体の草刈を行いました。



次に苗畑に移り手作業で畝の草取りを行いました。

昼食後は予定を変更し山田氏+息子さんの指示の
下に山田山林で伐木作業を行い

適当な立木をチェーンソーで2本伐倒しました。

1本目は坂本氏が見事にかかり木にならない伐倒方向を選び倒すことが
出来ました。2本目も小松氏と山崎氏が協力しこちらも山道方向に上手く
倒すことが出来ました。伐木はチェーンソーで玉切りし炭焼きの燃料として
使用します。暑い日ではありましたが怪我もなく順調に作業を終えました。



7月20日(土) 炭窯づくり&炭焼き交流会 参加者 9名+笹氏

炭材と燃料の一部は「協働の森」関係で手配をお願いし現地まで運んで頂きました。
炭材は径が太く、玉切り後に斧で割ることにしました。燃料も同じく



割ってから窯に並べていきました。

燃料として端材を
松本さんほかの方が
持参してくれました。
毎回、伏せ焼という方法
で木炭作りをしており



作業手順としてはまず、炭窯用の穴を掘ります。
毎年同じ場所で下には鉄板が敷いてあります。

次に空気の通る道を

丸太で作り、焚口と反対側に煙突を立てます。サイドにトタンを

- 1) 張り燃料を詰め込みます。
- 1) 丸太の上には炭材を並べます。
- 1) その上に燃料を積み込み
- 1) トタンを被せます。



さらにトタンの上に空気が
漏れないように土を盛って
いきます。焚口を調整します。



これで準備完了です。
翌週の点火を待つばかりです。

リレーコラム

食物アレルギー

五賀 利雄

冷たい水に浸したソーメンを好みのタレで食べる。夏の楽しみそのものであった。ラーメン・冷麦・うどん・そば、麺類大好きだったのにそれを絶ってもはや5年になる。天ぷら・とんかつ・まんじゅう・ぎょうざ、などなど原材料に小麦粉が含まれているものすべてが食べられなくなりました。食べた場合、命に危険が及ぶこともあるとの事。怖いよ～怖いよ～ある夏の日のお昼時、冷麦に天ぷらをのせて食べている時に異変が起きた。食べ始めて間もなく、体が痒くなり発疹が出てきた。「じんましん」ではと思い我慢していたが、どうも様子が変わった。悪寒を感じ、やがて意識が遠のいてしまった。



救急車で搬送され入院し翌日、自宅に帰ることが出来た。食物アレルギーによる、アナフィラキシーショックだったと医師の説明があった。食物アレルギーとは、食べ物に含まれる特定の物質に対して免疫が過剰に反応することを言い、その最も重い症状がアナフィラキシーショックだそうだ。「あなたは一命を取り止めたんですよ」の先生の一言は忘れません。

木に触れて 林と遊び 森と育つ

8月の活動案内

安全作業に 努めましょう

8月4日(日)

内容 午前 里山づくり 作業路を中心とした草刈り 前日に配布したレジユメを参照の事
午後 炭焼きの窯出し～岡田家の庭に移動します

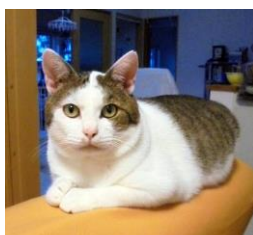
集合 山田倉庫前に8:45 集合後に「協働の森」農家後広場に移動

持ち物 山道具・刈払い機・手がま・軍手・長靴・弁当・飲み物

8月24日(土)

内容 当別町社会福祉ふれあいまつり下準備

集合場所と時間 山田氏倉庫前 9:00 午前で終了予定です



編集後記

雨で1日順延となった、炭焼き本番は紙面の都合で9月号に掲載します。

今年の炭の出来具合はどうなのでしょう。

開けてびっくり・・・。次号をお楽しみに。

何度失敗しても楽しい炭焼きイベントです。

煙突の煙とたき火を眺めて大いに語るだけで「良かったね」です。

ところで、金沢地区で2回ほど白いカラスを見かけました。ネットで検索すると7月15日にはHTVでスクープとしてもはや放映されておりました。ブチ柄の猫は終日我が家にいますけど。皆さん、暑さに負けず夏を乗り切りましょう。

おしまい。 岡田